

開催概要

令和6年度 スマート農業技術検討会「畑作体系における可変施肥」

農研機構・北海道農業研究センター・みどり戦略スマート農業推進室

現在、農林水産省の「スマート農業推進総合パッケージ」では、スマート実証の着実な実施とともに、スマート農業技術の普及(横展開)を支援する取組を強化している。その中で「スマート農業実証プロジェクト」の成果を普及組織に繋げる取組の強化が求められている。

今回は畑作体系における可変施肥について取り上げ、「スマート農業実証プロジェクト」の実証終了後も継続して可変施肥に取り組まれているコンソーシアムから講師に招聘し、報告が多い小麦のみならず、玉ねぎ、キャベツ、甜菜、馬鈴薯、大麦(米も予定)といった品目についての実証の成果や普及に関する情報提供を行う。

また、可変施肥に関して聞き取り調査など普及に関する情報提供、農林水産省によるスマート農業の推進に向けての新たな取り組みについての情報提供を行う。

討論の時間では可変施肥の導入効果を整理すると共に減肥を効果的に行う上での留意点、効果が期待できない場所の判別等についての情報提供、さらに、可変施肥についての現場の声を踏まえ、普及に向けての課題、取り組みについて討論する。

